## 生徒代表のことば

生徒を代表して生徒会長の川端竜矢君（三年）が感謝の言葉を述べ、「先輩たちの努力の足跡を受け継ぎ、松高生の自覚と誇りを持ち、これまで以上の発展に寄与するため、在校生一丸となって取り組んでいくことを誓います」と結んだ。

## 校歌の歌声高らかに

式の最後に在校生と同窓生で校歌を斉唱した。この日のために練習を積み重ねた成果が出ており、声の大きさ歌声とも素晴らしく、松任高校の未来は明るいと感じさせる感動的な校歌斉唱であった。ピアノ伴奏は道上月香さん（三年）が行った。

## 伊藤雅雄アナウンサー（石川テレビ）が司会

記念式典と祝賀会は石川テレビの伊藤雅雄アナウンサーが担当してくれました。なんと前日のリハーサルから参加でした。テレビで慣れ親しんだ声での司会は、式典を厳かな雰囲気にしてくれました。一転して祝賀会では機転の利いた進行で会場を盛り上げてくれました。やっぱりプロは一味違います。ちなみに奥様は本校の同窓生だそうです。

## 名倉先生大忙し

開式の辞の後、名倉香織先生が国歌を独唱しました。その後すぐに感謝状贈呈の補助として賞状や記念品の受け渡し係をし、さらにその後の吹奏楽部の記念演奏会に出演し、合唱部と共に「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーを歌うなど大活躍でした。

常に舞台の上にいて緊張したことでしょう。何度も着替えをしてたいへんだったのではないでしょうか。

先生は今年度から本校へ来られた音楽科教諭で、イタリアへ留学して声楽を学ばれたそうです。今後も素晴らしい歌声を聞かせてください。

独唱では緊張したと話された先生ですが、校歌コンクールを実施するなどして何度も練習した校歌を、生徒がきれいな大きい声で歌ってくれたことがとても嬉しかったそうです。

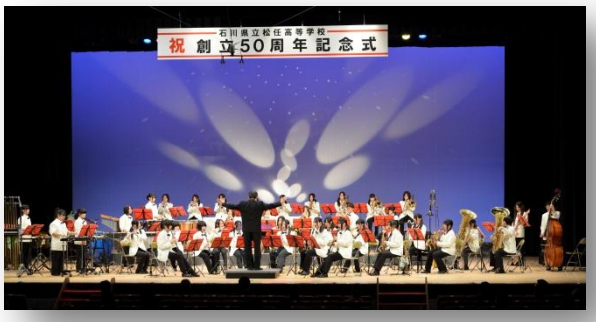
## 木下教頭も緊張

司会は伊藤アナウンサーが担当してくれましたが、木下教頭先生には開式の辞・閉式の辞の他に来賓紹介という大役がありました。いつもは寡黙な教頭先生ですが、この日は流暢な紹介の声を響かせてくれました。会場の皆さんも拍手をしてくれて、見事に大役を果たすことができたようです。間違えてはいけないプレッシャーはたいへんなものがあったのではないでしょうか。

## 中庭がきれいに

記念事業の一つとして、中庭が整備されました。木の配置を変え、歩道、椅子などを設けました。昼休み等に憩いの場として使えるよう工夫されています。是非ご利用ください。

# 吹奏楽部　記念演奏会で新曲「ブリリアントマインド」を披露




## 校歌の明き心をイメージ

### 記念演奏会

記念式典の後、吹奏楽部による記念演奏が行われ、五十周年を記念する新曲「ブリリアントマインド」を初めて披露した。

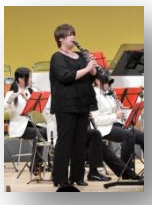
この曲は吹奏楽の作曲者として国内第一人者とされる後藤洋氏に作曲を依頼したもので、校歌にある「明き心に」をイメージして作られている。

吹奏楽部では今後もこの曲を演奏会などでテーマ曲として演奏していく予定である。

その他、合唱部と共演した「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーや、本校が開講した昭和三十八年のヒット曲を集めた五十周年記念メドレーなどが演奏され、式典を大いに盛り上げた。

同窓生の女性は「素晴らしい演奏と合唱に感動しました。昔のメドレーでは涙が出ました。生徒さんが一生懸命に演奏しているのを見て、松任高校の卒業生であることを誇りに思うことができました。」と語っていた。

ウェーバーのクラリネット小協奏曲を演奏したソリストの桂夕未さん（洗足学園音楽大学3年・本校卒業生）と「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーを歌った合唱部と顧問の名倉香織先生



# 川合　俊一氏　「明日に向かって…」

## 一流になる要素は「あいうえおか」

### 記念講演

元バレーボール日本代表でタレントの川合俊一氏の記念講演が行われ、一時間にわたって楽しい話題で会場から笑いを誘ってくれました。

講演の中で川合氏は一流になる要素は「あいうえおか」で表すことができ、この６つを覚えておいて実行していくことで一流への道を目指してほしいと話されました。

６つの要素とは次のとおり

**あ　あきらめない**
**い　いい指導者**
**う　運**
**え　選ぶ**
**お　親**
**か　環境**

## バレーボール教室

川合俊一氏を講師として、翌14日（日）午前９時～11時まで、本校体育館でバレーボール教室を開催しました。

本校バレーボール部をはじめ、松任中学校、光野中学校、金沢北陵高校、小松明峰高校など男女約１００名と保護者約４０名が参加し、講演同様に楽しい話で大いに盛り上がりました。

## 記念祝賀会

記念祝賀会は６時30分よりグランドホテル松任で行われ、同窓会を中心として、ＰＴＡ、新旧教職員等の関係者約２５０名が一堂に会し、校歌を歌い、思い出話とともに母校の創立五十周年を祝いました。

本校の郷土芸能の授業の講師である地下朱美先生・山田瑞恵先生ら炎太鼓の演奏があり、その迫力に圧倒されました。

また、今年度飛び込み競技でインカレ優勝した日本体育大学の辻原朱里さんと法政大学フェンシング部主将を務めた山本迪也さんが駆けつけ、高校時代の思い出を語ってくれました。

## 編集後記

今回の松高だより臨時号は、大成功だった五十周年記念式典の様子を伝えたいという気持ちで編集しました。橋本同窓会長や野球部ＯＢ会の功労者表彰、従二先生や南先生の永年勤続表彰など紹介できなかったこともたくさんあります。あまり目立ちませんが、完璧に誘導してくれた駐車場係の野球部・弓道部・サッカー部、来賓の案内や接待をしてくれたＰＴＡやＯＢ会の皆さんを写真が無くて紹介しきれなかったのが残念です。

式典や祝賀会が終わってしまうと、達成感とともに力が抜けてしまったように感じますが、いろいろな係の方はまだまだ忙しいようです。様々な費用の支払いや会計処理、十一月にはマイクロバスも納車されます。三月には私たちもお手伝いした記念誌の出版もあります。五十周年をきっかけに仲良くなった皆さんとともに、松任高校がますます発展していくように少しでも貢献できればと思っています。創立百周年には今の生徒たちが中心となって立派に運営してくれることを期待しております。

（編者記）